

平成25年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会

平成25年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成25年12月17日(火)～18(水)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者47名、委託関係者40名ほか、計99名の参集を得て、除草剤24薬剤(83点)、

生育調節剤7薬剤(21点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成25年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注) アンダーラインは新たに判定された部分を示す

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類・ 新・従 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい 試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AK-01 液 アクトアップ®ピコリン塩・41% 【TAC普及会】	トマト	適用性 新規	植調研 長野 野花試 鹿児島 熊毛 (3)	ねらい 併起前又は植付前 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 雑草茎葉処理 併起前又は植付前、雑草生育期(株丈30cm以下) 250mL <100L 500mL <100L 対) アクトアップ®ピコリン塩 併起前又は植付前、雑草生育期(株丈30cm以下) 250mL <100L		継	継 効果、薬害の確認
	トマト	倍量調査 新規	長野 野花試 鹿児島 熊毛 (2)	ねらい 倍量薬害(植付直前) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 雑草茎葉処理 植付直前(植付当日もしくは前日) 500mL <100L 1000mL <100L (倍量区)			
2. AKD-7164 水和 シタリン・50% 【アグ・ホリゾン】	トマト	適用性 継続	北海道花・野菜 (1)	ねらい 低薬量での年次変動の確認 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 全般(コナジを除外) 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植活着後、雑草発生前 50g <100L 75g <100L 100g <100L 対) コーナン乳剤 定植活着後、雑草発生前 300mL <100L		実 従来 どお り)	【春夏作、露地：一年生雑草】 ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・100～200g<100L/10a 【春夏作、露地：一年生広葉雑草 (コナジを除く)】 ・定植活着後 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・50～100g<100L/10a 注) ・本科以外の草種には効果がある場合がある。 継 低薬量(50g/10a)での一年生広葉雑草に対する効果、薬害の年次変動の確認

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・種 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい	ねらい試験設計 等	備 考	判定	判定内容
3. ANK-553 (既) 乳 ベンゾチアゾロン:30.0% [BASFジャパン]	トマト	適用性 継続	北海道花・野菜 北海道北見 北海道 (3)	ねらい 対象 雑草	水量150L/10aの拡大		実	実) [露地、寒冷地、春まき移植] [春夏作、露地:一年生雑草 (イ科を除く)] ・播種後定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~600mL(70~150L)/10a
					設計 薬量 <水量> /10a			
	トマト	適用性 継続	北海道十勝 植調研 長野 野花試 (3)	ねらい 対象 雑草	生育期処理 (畦間処理)		実・継	実) [露地普通:一年生雑草全株 (但しイ科、アゴザは除く)] ・植付後萌芽前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・200~400mL(70~100L)/10a 継) ・畦間処理での効果、薬害の確認
					設計 薬量 <水量> /10a			
	トマト	倍量薬害 継続	植調研 長野 野花試 (2)	ねらい 対象 雑草	倍量薬害 (畦間処理)			
					設計 薬量 <水量> /10a			
4. BAS 656 乳 ジメチアトP:64% [BASFジャパン]	アロカシ	適用性 継続	北海道道南 北海道 (2)	ねらい 対象 雑草	定植後、雑草発生前(北海道)		実・継	実) [従来 どおり] [春夏作、露地:一年生雑草 (イ科、アゴザ科、アブ科を除く)] ・定植後、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・50~70mL<100L>/10a 注) ・夏期高温時での使用を避ける 継) ・年次変動の確認(北海道)
					設計 薬量 <水量> /10a			
5. KUH-043 顆粒水和 ビロキサメロン:50% [ケイ化学工業]	トマト	適用性 継続	独 北海道農研 北海道花・野菜 北海道 (3)	ねらい 対象 雑草	定植後、雑草発生前		継	継) ・効果、薬害の確認
					設計 薬量 <水量> /10a			

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) 【発注者】	作物名	試験の 種 類 新・種 の 別	試験担当場所 (又は試験中など の 数)	ねらい試験設計等	備 考	判定	判定内容
6. NC-360 フロアリン酸 メチルセブチルエーテル塩 【日産化学工業】	フロアリン酸	適用性 継続	北海道道南 J北海道 (2)	ねらい イネ科雑草3~6L(北海道) 対象 雑草 一年生(併) 全般(スズノヒゲを除く) 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) フロアリン酸生育期、イネ科雑草生育期(3~6L) 200mL<25L> 200mL<100L> 300mL<25L> 対) フロアリン酸 雑草3-5L 200mL<100L>		実)	【春夏作、露地;一年生イネ科雑草 (スズノヒゲを除く)】 ・生育期、イネ科雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・200~300mL<25~100L>/10a (水 量 25~50Lは専用ノズルを使用す る)
	フロアリン酸	適用性 継続	広島 福岡 J鹿児島大隅 <中間> (3)	ねらい イネ科雑草3~6L(東北以南) 対象 雑草 一年生(併) 全般(スズノヒゲを除く) 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) フロアリン酸生育期、イネ科雑草生育期(3~6L) 200mL<25L> 200mL<100L> 300mL<25L> 対) フロアリン酸 雑草3-5L 200mL<100L>			
7. NC-622 液 グリホサートイソプロピル塩:45% 【日産化学工業】	グリホサートイソプロピル塩	適用性 継続	J北海道<中間> (1)	ねらい 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 スズノヒゲ 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理(全面茎葉処理) グリホサートイソプロピル塩生育期(草丈30cm以下) 1500mL<25L> 1500mL<100L> 2000mL<25L>		実・継 断(送 来ど おり)	【春夏作、露地;スズノヒゲ】 ・収穫後 雑草生育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・1500~2000mL<25~100L>/10a (水 量 25~50Lは専用ノズルを使用す る) 継) ・年次変動の確認
	グリホサートイソプロピル塩	適用性 継続	北海道花・野菜 J北海道 (2)	ねらい 対象 雑草 定植後、雑草発生前 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 定植後(雑草発生前) 150g<70L> 150g<100L> 225g<70L> 対) グリホサートイソプロピル塩水和剤 定植後発生前(雑草発生前) 300g<100L>		継)	・効果、被害の確認
8. NS-1101 水和 S-メタラクトン:24.8% プロピピリン:26.6% 【日本化薬】	メタラクトン	適用性 継続	北海道上川 J北海道 檜木 宮崎 畑園 <中間> (4)	ねらい 対象 雑草 播種後出芽前 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出芽前(雑草発生前) 150g<100L> 対) プロピピリン水和剤 播種後出芽前(雑草発生前) 200g<100L>		実・継 断)	【春夏作、露地;一年生雑草】 ・播種後出芽前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・150g<100L>/10a 継) ・年次変動の確認(北海道)
	プロピピリン	適用性 継続	北海道十勝 植調研 長野 野花試 福岡 八女 (4)	ねらい 対象 雑草 植付後萌芽前、雑草発生前 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 植付後萌芽前(雑草発生前) 225g<100L> 300g<100L> 対) プロピピリン水和剤 植付後萌芽前(雑草発生前) 400g<100L>		実・継 断)	【春夏作、露地;一年生雑草】 ・植付後萌芽前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・225~300g<100L>/10a 継) ・年次変動の確認(北海道)

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種別・継 続の別	試験担当場所 ◎は試験中など (效)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
9. NP-55 乳 剤(シリン)A:20% 【日本曹達】	トマト	適用性 継続	北海道北見 J北海道	(2) ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般(※'ノコギリ'を除く) -一年生広葉 - -多年生(科) - -多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 200mL<100L> 対) モノプロピル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 300mL<100L>		実 効	実) 【春夏作、露地：一年生(科雑草 (※'ノコギリ'を除く)) ・生育期、(科雑草)3-5葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL(100~150L)/10a 【春夏作、露地：一年生(科雑草 (※'ノコギリ'を除く)) ・生育期 (科雑草)6-8葉期 ・全面茎葉処理 ・200mL<100L>/10a 注) - (科雑草)6-8葉期での効果-実効 の確認
	ニンジン	適用性 継続	北海道上川 J北海道	(2) ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般(※'ノコギリ'を除く) -一年生広葉 - -多年生(科) - -多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 200mL<100L> 対) モノプロピル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 300mL<100L>		実 効 (従来 どおり)	実) 【春夏作、露地：一年生(科雑草 (※'ノコギリ'を除く)) ・生育期、(科雑草)3-5葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL(100~150L)/10a 【春夏作、露地：一年生(科雑草 (※'ノコギリ'を除く)) ・生育期 (科雑草)6-8葉期 ・全面茎葉処理 ・200mL(100~150L)/10a 注) - (科雑草)6-8葉期での年次変動の 確認
	ニンジン	適用性 継続	栃木	(1) ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般(※'ノコギリ'を除く) -一年生広葉 - -多年生(科) - -多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 200mL<100L> 200mL<150L> 対) モノプロピル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 300mL<100L>			
10. SYJ-100 乳 剤(シリン)A:18.4% 【シダックスジャパン】	トマト	適用性 継続	宮森 野菜研 鹿児島 熊毛	(2) ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般(※'ノコギリ'を除く) -一年生広葉 - -多年生(科) - -多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 200mL<100L> 200mL<150L> 対) モノプロピル 生育期、雑草生育期(1年生(科雑草)6-8葉期) 300mL<100L>		実 効 (従来 どおり)	実) 【春夏作、露地：一年生(科雑草 (※'ノコギリ'を除く)) ・生育期、(科雑草)3-5葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL(100~150L)/10a 【春夏作、露地：一年生(科雑草 (※'ノコギリ'を除く)) ・生育期、(科雑草)6-8葉期 ・全面茎葉処理 ・200mL(100~150L)/10a 注) - (科雑草)6-8葉期での年次変動の 確認
	ニンジン	適用性 継続	宮森 野菜研	(1) ねらい 対象 雑草 -一年生(科) 全般(※'ノコギリ'を含む) -一年生広葉 全般 -多年生(科) - -多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /10a 全面土壌処理 播種後出土前(雑草発生前) 400mL<100L> 500mL<100L>		実 効 (従来 どおり)	実) 【春夏作、露地：一年生雑草 ・播種後出土前 雑草発生前 ・全面土壌処理 ・400~500mL(100L)/10a

A. 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種類・種 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
11. アニオン水和 アニオン:50.0% [米田TKI社]	サトウ	適用性 継続	千葉大 環境研 鹿見島大隅 <中間> (2)	ねらい 定植活着後、雑草発生揃期 対象 雑草 一年生/根 - 一年生/葉 全般 多年生/根 - 多年生/葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉処理 林'定植活着後、雑草発生揃期 75g <100L> 100g <100L> 150g <100L> ※) アニオン液剤 林'定植活着後、雑草発生揃期 (畦間処理) 300mL <100L>		実・継	[春夏作:露地:一年生雑草] ・定植活着後 雑草発生前 ・畦間土壌散布 ・100~150g<70~150L>/10a [秋作] ・定植活着後、雑草発生揃期、全面 茎葉処理での効果、薬害の確認

B. 平成24年度 春夏作分 野菜関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種類・種 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. AH-01 液 アトキシネートPナトリウム 塩:11.5% [Meiji Seika 7777 北興化学工業]	アスパラ ガス	適用性 継続	北海道南 1北海道 (2)	ねらい 収穫打ち切り直後、雑草生育期 対象 雑草 一年生/根 全般 一年生/葉 全般 多年生/根 全般 多年生/葉 全般 その他 スキナ 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉散布 収穫打ち切り直後・雑草生育期 (草丈30cm以下) 500mL <100L> 500mL <150L> 1000mL <100L>	・収穫打ち切り直後に雑草の草丈30cm以下で散布。 ・処理時に萌芽している若茎の刈取りは不要。 ・除草効果の調査は効果最大時(処理7~10日後を目処)に行う。 ・処理後に萌芽した若茎からの地上部の生育、次期作での収量調査を行う。 ・展着剤は不要。	実・継	[春夏作:一年生雑草] ・萌芽前 雑草生育期(草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・300~500mL<100~150L>/10a [春夏作:一年生雑草] ・収穫打ち切り後、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・全面茎葉処理 ・500~1000mL<100~150L>/10a [秋作] ・収穫打ち切り後全面処理での効果、薬害の確認 ・収穫打ち切り後全面処理での多年生雑草、スキナに対する効果の確認
2. NC-622 液 グリホサート37%塩:48% [日産化学工業]	サトウ	適用性 継続	1北海道 (1)	ねらい たまねぎ収穫後、スキナ生育期 対象 雑草 一年生/根 - 一年生/葉 - 多年生/根 - 多年生/葉 - その他 スキナ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 (全面茎葉処理) たまねぎ収穫後、スキナ生育期 (草丈30cm以下) 1500mL <25L> 1500mL <100L> 2000mL <25L> 対) 慣行処理 (一任)	・早生品種で試験を行う。 ・水量25L/10aは少量散布用ノズルを使用。 ・たまねぎ植え付け後に必要に応じてスキナに効果のない薬剤での雑草防除を行う。	-	0125年度分参照)

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. ANK-553 細粒 ペンディメタリン:2% 【BASFジャパン】	ネ (移植)	適用性 新規	愛知 鹿兒島 (2)	ねらい 定植後、雑草発生前 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般(ササ科を除く) 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 4kg 5kg 6kg 対) クレマトリル剤 定植後、雑草発生前 5kg		雑	雑) ・効果、薬害の確認
	ネ (移植)	倍量薬害 新規	愛知 鹿兒島 (2)	ねらい 倍量薬害(定植後) 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 6kg 12kg (倍量区)			
2. ANK-553 (20) 乳 ペンディメタリン:30.0% 【BASFジャパン】	ネ (移植)	適用性 継続	広島 福岡 (2)	ねらい 定植後への拡大 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般(ササ科を除く) 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 200mL <70L> 200mL <150L> 400mL <70L> 対) フラマキアス水和 定植後、雑草発生前 300g <100L>		実・雑	実) 【春夏作露地普通】：一年生雑草全般 (ササ科を除く) ・定植前、雑草発生前 ・全面土壌処理 ・300~400mL<70~150L>/10a 雑) ・処理時期、薬量および施用による 影響による ・定植後、雑草発生前での効果、薬 害の確認
	ネ (移植)	倍量薬害 継続	広島 福岡 (2)	ねらい 倍量薬害(定植後) 対象 雑草 一年生(併) - 一年生広葉 - 多年生(併) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 400mL <70L> 800mL <70L> (倍量区)			
3. GG-180 粒 ジメチアリン:1.0% DBN:0.5% 【保土谷フグワック】	クハキ ササノ	適用性 新規	千葉大 園芸 南九州大 (2)	ねらい 一年生雑草、多年生広葉雑草 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg 30kg 40kg		雑	雑) ・効果、薬害の確認
4. GG-182 粒 ジメチアリン:1.0% MCP:1.0% 【保土谷フグワック】	ツツク ササ	適用性 新規	山形園試 福島 三重 鈴鹿 (3)	ねらい 一年生雑草、多年生広葉雑草 対象 雑草 一年生(併) 全般 一年生広葉 全般 多年生(併) - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg 30kg 40kg 対) シバードフグ 粒剤 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg		雑	雑) ・効果、薬害の確認

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種別 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容
5. GG-191 粒 トリアジン・アミノピ リジン系 DBN:0.5% N:P:K:Mg=11:8:7:3 [保土谷アグロ]]	ワタシ・ ササキ	適用性 新規	福島 三重 鈴鹿 広島 (3)	ねらい	一年生雑草	全般	土壌処理 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg 30kg 40kg /10a 対) シノニドアグロ 粒剤 雑草生育期(草丈10cm以下) 20kg	雑	継 ・効果、薬害の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 全般 その他 -			
6. HGAL-12 液 クワシリン・イソプロピル 塩:1.0% [一社]	ワタシ・ ササキ	適用性 継続	千葉大 園芸 鳥取 園芸 (2)	ねらい	雑草全般	全般	樹冠下雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 原液 20mL/m ² <-> 原液 30mL/m ² <-> 原液 40mL/m ² <-> 対) 一任	実・継 (実)	継 【ワタシ・ササキ】:一年生雑草】 ・生育期、雑草生育期 ・雑草茎葉処理 ・20~40mL/m ² (希釈せずそのまま散布) 注) ・専用容器を使用する。 ・雑草の草丈30cm以下で使用する。 ・作物にかからないように散布する。 継 ・多年生雑草に対する効果の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 全般 多年生広葉 全般 その他 -			
7. HP6-110 粒 クワシリン:1.0% DCBN:3.0% DCBN:1.5% [保土谷UPL]	ワタシ・ ササキ	適用性 新規	福島 千葉大 園芸 南九州大 (3)	ねらい	一年生雑草、多年生広葉雑草、スサナ	全般	土壌処理 雑草生育期(草丈15cm以下) 10kg 15kg 20kg /10a 対) シノニドアグロ 微粒剤 雑草生育初期(草丈15cm以下) 7.5kg	雑	継 ・効果、薬害の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 全般 その他 スサナ			
8. NH-007 フロアクト クワシリン・イソプロピル 塩:30.0% ピラフェンエチル:0.16% [日本農薬]	キョ	適用性 新規	栃木 沖縄<中間> (2)	ねらい	耕起前、雑草生育期	全般	全面茎葉散布 耕起前(雑草生育期) 400mL <100L> 600mL <100L> 対) フロアクトアグロ マップスロート 耕起前 横行<横行>	継	継 ・効果、薬害の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 -			
9. NP-55 乳 ピラフェン:20% [日本曹達]	ワタシ	適用性 新規	岩手 岩手 県北 福島 浜地域 岡山 高冷地 (4)	ねらい	倍量薬害(耕起直前)	全般	全面茎葉散布 耕起直前(耕起当日または前日) 600mL <100L> 1200mL <100L> (倍量区)	実・継 (実)	継 【春夏作;一年生仔根雑草 (スサナを除く)】 ・生育期、仔根雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a 継 ・年次変動の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般(スサナを除く) 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 -			
9. NP-55 乳 ピラフェン:20% [日本曹達]	ワタシ	適用性 新規	岩手 岩手 県北 福島 浜地域 岡山 高冷地 (4)	ねらい	倍量薬害(耕起直前)	全般	全面茎葉散布 耕起直前(耕起当日または前日) 600mL <100L> 1200mL <100L> (倍量区)	実・継 (実)	継 【春夏作;一年生仔根雑草 (スサナを除く)】 ・生育期、仔根雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a 継 ・年次変動の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般(スサナを除く) 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 -			
9. NP-55 乳 ピラフェン:20% [日本曹達]	ワタシ	適用性 新規	岩手 岩手 県北 福島 浜地域 岡山 高冷地 (4)	ねらい	倍量薬害(耕起直前)	全般	全面茎葉散布 耕起直前(耕起当日または前日) 600mL <100L> 1200mL <100L> (倍量区)	実・継 (実)	継 【春夏作;一年生仔根雑草 (スサナを除く)】 ・生育期、仔根雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a 継 ・年次変動の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般(スサナを除く) 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 -			
9. NP-55 乳 ピラフェン:20% [日本曹達]	ワタシ	適用性 新規	岩手 岩手 県北 福島 浜地域 岡山 高冷地 (4)	ねらい	倍量薬害(耕起直前)	全般	全面茎葉散布 耕起直前(耕起当日または前日) 600mL <100L> 1200mL <100L> (倍量区)	実・継 (実)	継 【春夏作;一年生仔根雑草 (スサナを除く)】 ・生育期、仔根雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a 継 ・年次変動の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般(スサナを除く) 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 -			
9. NP-55 乳 ピラフェン:20% [日本曹達]	ワタシ	適用性 新規	岩手 岩手 県北 福島 浜地域 岡山 高冷地 (4)	ねらい	倍量薬害(耕起直前)	全般	全面茎葉散布 耕起直前(耕起当日または前日) 600mL <100L> 1200mL <100L> (倍量区)	実・継 (実)	継 【春夏作;一年生仔根雑草 (スサナを除く)】 ・生育期、仔根雑草3~6葉期 ・全面茎葉処理 ・150~200mL<100~150L>/10a 継 ・年次変動の確認
					対象 雑草	一年生仔根 全般(スサナを除く) 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 -			

C. 花き関係除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・区 新・羅 の別	試験担当場所 △は試験中など (取)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
10. N8H-096E 乳 ベアラゴン酸2.5% 【丸和パイヤ社】	クワシ・ ササ	適用性 新規	＜東日本G研＞ ＜J福岡＞ (2)	ねらい		-	＜試験中＞
				樹冠下における一年生雑草、 多年生雑草に対する適用性の検討			
				対象 雑草			
				-一年生(株)			
				-一年生(葉)			
				多年生(株)			
				多年生(葉)			
				その他			
				設計 薬量 ＜水量＞ /10a			
				樹冠下雑草葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 100mL/m ² ＜希釈せずそのまま散布＞ 150mL/m ² ＜希釈せずそのまま散布＞ 対) 草退治(ワウライド) 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL/m ² ＜希釈せずそのまま散布＞			
	クワシ・ ササ	倍量選査 新規	＜東日本G研＞ (1)	ねらい			
				クワシ・ササに対して倍薬量での影響を確認			
				対象 雑草			
				-一年生(株)			
				-一年生(葉)			
				多年生(株)			
				多年生(葉)			
				その他			
				設計 薬量 ＜水量＞ /10a			
				樹冠下雑草葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 150mL/m ² ＜希釈せずそのまま散布＞ 300mL/m ² ＜希釈せずそのまま散布＞ (倍量区)			
11. N8H-098E 乳 ベアラゴン酸30% 【丸和パイヤ社】	クワシ・ ササ	適用性 新規	＜東日本G研＞ ＜J福岡＞ (2)	ねらい		-	＜試験中＞
				樹冠下における一年生雑草、 多年生雑草に対する適用性の検討			
				対象 雑草			
				-一年生(株)			
				-一年生(葉)			
				多年生(株)			
				多年生(葉)			
				その他			
				設計 薬量 ＜水量＞ /10a			
				樹冠下雑草葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 6.7L<100L> 6.7L<150L> 10L<100L> 10L<150L> 対) 草退治(ワウライド) 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL＜希釈せずそのまま散布＞			
	クワシ・ ササ	倍量選査 新規	＜東日本G研＞ (1)	ねらい			
				クワシ・ササに対して倍薬量での影響を確認			
				対象 雑草			
				-一年生(株)			
				-一年生(葉)			
				多年生(株)			
				多年生(葉)			
				その他			
				設計 薬量 ＜水量＞ /10a			
				樹冠下雑草葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 10L<100L> 20L<100L>(倍量区)			

D. 野菜関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種・区 新・羅 の別	試験担当場所 △は試験中など (取)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. KT-30S 液 ネオフルオロフェニロン:0.1% 【協和発酵パイヤ】	スイカ	適用性 継続	千葉 北総東総 (1)	ねらい			英・雄 (従来 どおり)
				着果促進効果の低薬量(5ppm)拡大			
				設計 薬量 ＜水量＞ /10a			
				子房部散布 開花当日 5ppm <0.3-0.5mL/子房> 対) 無処理(人工授粉のみ) 対) KT-30S 子房部散布 開花当日 10ppm <0.3-0.5mL/子房>			・ 開花前～当日 ・ 100～500ppm ・ 要受粉 (子房部散布処理) ・ 開花当日 ・ 10～20ppm<0.3～0.5mL/子房> ・ 要受粉
							・ 薬量と品質の影響について ・ 低薬量(5ppm)での効果、薬害の確認

D. 野菜関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 型 新・従 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい-試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. KT-30S 液 つづき	トマト	適用性 新規	岐阜 岡山	ねらい (2) 設計 葉量 <水量> /10a	放射状裂果軽減 幼果に散布 幼果期 5ppm <5mL/果房> 10ppm <5mL/果房> 20ppm <5mL/果房> 対) 無処理	継	継) ・効果、葉害の確認
2. SYJ-248 フォーフ バクアブリン酸:21.5% [ソニーエンターテイン]	トマト	適用性 継続	福島 植調研 栃木 京都園芸	ねらい (4) 設計 葉量 <水量> /10a	生育前期の伸長抑制(2年目) 播種穴薬液滴下処理 播種後覆土前 15万倍希釈(1.5ppm) <0.2mL/播種穴> 7万5千倍希釈(3.1ppm) <0.2mL/播種穴> 4万5千倍希釈(5.1ppm) <0.2mL/播種穴>	変	変) 【生育前期の伸長抑制】 ・播種後覆土前 ・15万倍(1.5ppm) ・4万5千倍(5.1ppm) <0.2mL/播種穴> ・播種穴滴下処理

E. 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 型 新・従 の 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい-試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 フルアクリル酸:50% [日本農薬]	カズカイ アザミ	適用性 新規	福岡果樹苗木 <中間> <南九州大>	ねらい (2) 設計 葉量 <水量> /10a	新梢伸長抑制による剪定軽減 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g <100L> 800g <300L> 2000g <100L> 対) クラウンフット粒 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg	継	継) ・効果、葉害の確認
	ヒメ	適用性 新規	千葉大 園芸 <中間> 福岡果樹苗木 <中間>	ねらい (2) 設計 葉量 <水量> /10a	新梢伸長抑制による剪定軽減 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g <100L> 800g <300L> 2000g <100L> 対) クラウンフット粒 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg	継	継) ・効果、葉害の確認
	ベニカナ アザミ	適用性 継続	千葉大 園芸 <中間> 福岡果樹苗木 <中間> <南九州大>	ねらい (3) 設計 葉量 <水量> /10a	新梢伸長抑制による剪定軽減 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g <100L> 800g <300L> 2000g <100L> 対) クラウンフット粒 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg	継	継) ・効果、葉害の確認
2. シベリン 液 ジベチル:0.5% [岩手県農業研究セン ター]	アズキ	適用性 継続 (自主)	岩手<中間> 山形<中間>	ねらい (2) 設計 葉量 <水量> /10a	株の生育促進 株元散布 収穫終了時 100ppm <5mL/株(32.5L/10a)> 100ppm <10mL/株(65L/10a)> 200ppm <10mL/株(65L/10a)> (倍量区) 対) 無処理	継	継) ・効果、葉害の確認 調査項目:越冬芽の 形成数および直径、 欠株数、葉害の有無 試験の手順:①開花 株に薬液を株元散 布し、次年度の芽 (越冬芽)を強制的 に摘みださせる。② 若い至葉により扶 期まで株の草勢を 維持する。③生育終 了時に株の状態を 調査する。④翌年の 生育、品質を調査す る。

F. 平成24年度 秋冬作分 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備考	判定	判定内容
1. エコノ液 エチオン:10% [福島県農業総合センタ-]	キャベツ	適用性 継続 (自主)	福島 (1)	ねらい 設計 葉量 <水量> /10a	落葉開花促進(自主試験) 株全体散布 促成10日前 500倍 <L/株> 1000倍 <L/株>		継	・効果、葉害の確認

G. 平成24年度 春夏作分 花き関係生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備考	判定	判定内容
1. NPK-063 水和 アミノ酸:50% [日本農薬]	ヘニカサ サ	適用性 新規	千葉大 園芸 (1)	ねらい 設計 葉量 <水量> /10a	新梢伸長抑制 全面均一土壌散布 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 800g <100L> 800g <300L> 2000g <100L> [比] ガリンノード粒剤 全面土壌混和 萌芽2週間前または新梢伸長開始2週間前 10~20kg	・処理前に樹高を一定の高さで刈り揃える。 ・樹高、樹径、新梢長、新梢数、葉張を調査する。 ・最終調査時に処理前の樹高で刈り込み、刈り取り部位の生重、乾物重を測定する。 ・調査は処理後3ヶ月、6ヶ月、9ヶ月を目処に行う。	-	(H25年度分参照)
2. ジベレリン液 ジベレリン:0.5% [福島県農業総合センタ-]	サトウ	適用性 継続 (自主)	岩手 山形 福島 (3)	ねらい 設計 葉量 <水量> /10a	生育促進(自主試験) 株元散布 収穫終了時 100ppm <5mL/株(32.5L)> 100ppm <10mL/株(65L)> 200ppm <10mL/株(65L)> (倍量区) 対) 無処理	・調査項目:越冬芽の形成数および直径、欠株数、葉害の有無 花株に葉液を株元散布し、次年度の芽(越冬芽)を強制的に抽だいさせる。 若い莖葉により秋根まで株の草勢を維持する。 生育終了時に株の状態を調査する。 翌年の生育、品質を調査する。	-	(H25年度分参照)